

第94回都市対抗野球大会東京都二次予選決勝戦(第一代表)

JR 東日本戦について

JR 東日本戦は公式戦過去 2 勝 6 敗と分が悪い。都市対抗野球東京都二次予選代表決定戦では 2 勝 3 敗(延長戦 1 勝 2 敗)と均衡している。いずれも 1 点差で敗れている。いずれの試合でも JR 東日本戦は長打(本塁打)を撃たれている。

今年の JR 東日本は第一次予選からの参加。第一戦鷺宮製作所戦は前半 7 対 3 とリードされるも 4 回 2 点 5 回 3 点逆転し 8 回 6 連打 6 得点とし止めの 1 点追加この回大量 7 点合計 15 対 7 で勝利した。この試合の安打数は 19 本の内 2 本塁打・3 本 3 塁打・3 本 2 塁打の長打の勝利。準決勝の NTT 東日本戦でも本塁打 1・3 塁打 1・2 塁打 1 と相変わらず長打力を発揮して 4 回に四球を挟んで 5 連打 4 点で 5 対 4 と逆転し、8 回本塁打で止めを打った。投手陣は鷺宮戦 5 投手(継投 4 投手)失点 7・NTT 東日本戦は 4 投手(継投 3 投手)失点 5 と打撃陣に比べ今一です。

明治安田生命は第一戦全府中野球倶楽部を完封勝利失点 0、準決勝戦のセガサミー戦においても失点 1 と投手陣は安定している。強力な JR の打撃陣の長打を警戒し低めの球で勝負して欲しい。投手陣の出来が勝負の分かれ道。

5 月 31 日神宮球場での JR 東日本戦は令和 1 年以來(第 4 代表)の 7 回目の代表獲得になります。代表決定戦で第一代表の座を仕留めてほしい。

JR 東日本の連打と与四死球を十分気を付けた投球すれば野球部創立(明治生命)以來の偉業ガンバレ明治安田生命野球部

2023 年 5 月 28 日

土田唯雄